

令和元年 5 月 24 日

**2020 年 4 月、先駆的な教員人事制度を導入
- 採用から 5～7 年後までに昇任も可能 -**

2020 年 4 月、広島大学の教員人事制度が変わります。2019 年 4 月以降からは、新しい制度で教員を公募します。

若手層の職、具体的には「准教授」「講師」「助教」で採用される教員に原則テニユアトラック制を適用します。5～7 年後にテニユア審査を行い、審査に合格すれば、上位職へのポストアップも可能な新たな制度です。また、採用基準、テニユア審査基準には、学問分野の特性を反映した公正な新基準を用います。

日本の大学では、2～3 年の任期付きポストを転々としている研究者が数多く存在するため、研究者が腰を据えて中長期的な研究ができる場や公正な人事による平等な機会を提供することが必要です。

広島大学の新しい教員人事制度がフロンティアとなり、日本の研究者、特に若手研究者を取り巻く環境が変わることを期待しています。

＜広島大学の改革と新しい教員人事制度を解説した動画＞

●日本語版

https://youtu.be/FsEo7dP5q_A

●英語版

https://youtu.be/v6LG_b9HDSA

＜用語解説＞

●テニユアトラック制度

大学が教員を 5～7 年程度の期間雇用し、大学内の研究環境で経験を積ませた後、採用時に提示したテニユア審査基準により教育業績や研究業績（論文数や質）などを審査し、適格であればテニユアを付与する制度です。

●テニユア

一定の条件を満たした教職員に与えられる終身在職権です。

【お問い合わせ先】

財務・総務室

人事部人事グループ（教員等人事担当）小林

TEL:082-424-6038

FAX:082-424-6030

広島大学が導入する新しい教員人事制度の概要

1. 広島大学版テニュアトラック制度について

- 「准教授」「講師」「助教」で採用される教員には、原則としてテニュアトラック制を適用します。5～7年後までにテニュア最終審査を行い、審査に合格すれば、上位職へのポストアップも可能な新たな制度です。その他、自己推薦による昇任機会も提供します。
- 採用時の審査においては、これまでの教育研究業績に加え、テニュアトラック期間に留まらず10年程度の中長期的な研究計画の内容について審査します。また、テニュア審査では、その到達度と将来の展望を加味して総合的に審査します。

2. 審査基準について

- 採用時及びテニュア審査時の審査基準は、学問分野に応じてバリエーションが異なり、「教授」「准教授」「講師」「助教」の職階ごとに、広島大学の教員として満たしていただきたい最低基準を設定しています。職階・学問分野の特性を適切に反映し、研究業績の質と量を表す公正な基準を用います。

3. テニュアトラック教員が安心して活躍できる支援体制について

- 採用されたテニュアトラック教員に対して、スタートアップ経費の支援や、メンター教員の配置など、教員が自立して研究活動を行うことのできる支援環境を整備しています。
- テニュアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じてテニュアトラック期間を一定期間延長することができます。
- テニュアが付与されなかった場合でも、本人が希望する場合は、テニュアトラック期間の満了する日の翌日から1年を限度として、特任教員として継続雇用します。

(※メンター制度とは)

新任教員が研究生生活において抱える研究上の課題や将来のキャリア形成、その他諸問題に関し、その自発的な解決に向けて、先輩教員(メンター)の助言を受けることができる制度です。

テニュアトラック教員のキャリアパス（例）

